

相模原地域事務所移転へ「29年間に幕を閉じる」



開所式の様子



新事務所

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、7月1日（火）、新事務所に移転し、4日（金）、開所式が盛大に執り行われた。

JR相模原駅から徒歩15分と人通りが多い立地条件にある商業ビル1階に開設された新事務所は、町並みと調和した近代的な外観と清潔感が漂い、より地域に密着した業務が容易となった。関係者からは、市役所通りの旧事務所に比べ「場所もわかりやすく、駐車場も地下にあるため、保安上安心だ」という声が聞かれた。

開所式には、募集相談員や協力者をはじめ歴代相模原事務所所長など多くの方々が参加し、新たな拠点の開設を祝った。

相模原地域事務所は、「この事務所移転に尽力された方々に深く感謝するとともに、引き続き、自衛隊の魅力を誠心誠意伝えていく」としている。

横浜の私立高校で自衛隊制度説明会を開催

桐蔭学園高校における
自衛隊制度説明会

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 平原1陸尉）は、7月3日（木）、桐蔭学園高校（横浜市青葉区）において自衛隊制度説明会を行った。

同校は、毎年この時期に自衛隊制度説明会を開催しており、今年度も受験を希望する100名以上の生徒が参加した。説明会では、防衛医科大学校、防衛大学校及び航空学生を主体に、各種目の特徴などの説明を行った。また、募集課長（防大OB）も説明に加わり、「防医大でも射撃はありますか」「防大の訓練について詳しく教えてくださいますか」などの質問に丁寧に答えていた。

市ヶ尾募集案内所は「例年、説明会に参加した生徒の中から合格者が出てくるものの、入校する生徒が多くはなく、あらゆる機会等を活用し、自衛隊の魅力を伝え募集成果に繋げていきたい」としている。

小田原医師会講演会支援



紹介を受ける講師



講演会

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、7月3日（木）、海上自衛隊横須賀病院の医官（小川2海佐）を講師に招き、一般社団法人小田原医師会54名に對し行われた講演会を支援した。

この講演会は、小田原医師会の災害担当の方から、災害医療について識能の向上を図るため、で自衛隊の医官の話伺いたいという要望により実現したものである。「海上自衛隊の災害派遣医療」という演題で、海上自衛隊の災害派遣時の医療の現状や訓練への取り組みなどを話された。

小田原地域事務所は、「今後も、あらゆるニーズに応え地域に対して自衛隊の活動を広報していく」としている。